

Que Será, Será

VOL.26

2001

AUTUMN



モンシロチョウ 浜野栄次

この歳になると人生まだやっ
ていないことは何かを考える。
一度は行ってみたいところは
と自問自答すると富士山が浮
かんだ。東京―名古屋を毎週
1回以上往復しているわたし
は富士山を新幹線の車窓から
見る機会が多いがまだ登った
ことはない。今年は富士山に
登ろうと決心をした。その前
にまず、体力を作らなければ
ならない。東京にいるときは
皇居を一周することに決めた。
3月中旬から、週に2回は朝
6時前に起き、天皇陛下の住
まわれる江戸城跡全周5.1km
を早足に歩いた。多くの場合、
半蔵門に出て、桜田門、正門、
坂下門、桔梗門、大手門、平
川門、そして乾門と左回りを
した。1時間と5分のウォー
キングである。冬の名残から
春そして夏への季節の移り変
わりを見せてくれる皇居の自
然は素晴らしい。また、47都
道府県の花が刻み込まれた石

わたしの富士登山

医療法人和楽会 理事長 貝谷久宣



が歩道に埋め込まれており、
これ一つずつ確認して歩く
のも楽しみとなった。ちなみ
に、東京都の花はソメイヨシノ、
愛知県はカキツバタ、岐阜県
はレンゲソウである。富士登
山は7月中にするのがよいと
昔から聞いていたので、山開き
の直後に行うことにした。7
月になり体力の最終調整のた
めに岐阜の金華山(標高329m)
に3回登った。朝出勤前に岐
阜公園まで車で10分走り、七
曲がり、百曲がり、そして最
後に馬の背登山道を上った。
この馬の背は数ある金華山登
山道の中でももっとも険しい
岩場の連続であり、富士登山
直前のトレーニングとしては
最適であった。頂上に立つ岐
阜城まで約30分である。城の
横に祭られている御岳神社の
後ろ手から見る美濃の山々を
背に下ってくる長良川は絶景
である。
さて、予定の7月13日が来た。